



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月1日

上場会社名 中部鋼板株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5461 URL <https://www.chubukohan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 久美男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松田 将 (TEL) 052-661-3811
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	26,643	46.6	881	△47.5	786	△51.6	499	△48.1
2021年3月期第2四半期	18,178	△23.0	1,678	△20.6	1,624	△24.3	962	△32.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 616百万円(△49.2%) 2021年3月期第2四半期 1,213百万円(△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	18.08	—
2021年3月期第2四半期	34.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	71,128	63,117	87.9
2021年3月期	69,466	62,768	89.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 62,553百万円 2021年3月期 62,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2022年3月期	—	12.00			
2022年3月期(予想)			—	25.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正につきましては、本日(2021年11月1日)公表の「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,100	—	5,400	109.7	5,300	109.2	3,400	113.4	123.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想の修正につきましては、本日(2021年11月1日)公表の「2022年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用し、当該基準等に基づいた予想となっております。

このため、2021年3月期の実績値に対する増減率は売上高のみ記載しておりません。

なお、当該基準等による売上高への影響は軽微であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更等)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	30,200,000株	2021年3月期	30,200,000株
2022年3月期2Q	2,586,182株	2021年3月期	2,596,588株
2022年3月期2Q	27,607,872株	2021年3月期2Q	27,595,209株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更等)	9
(セグメント情報等)	10
[ご参考]	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による度重なる緊急事態宣言の発令に伴い、経済活動が制限される状況が続きました。一方で、ワクチン接種などの対策は進んでいるものの、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

鉄鋼需要につきましては、国内外において粗鋼生産が前年同期を上回る水準で推移するなど、回復傾向となりました。

このような環境のもと、当社グループは主要製品である厚板の販売価格の適正水準確保のための営業活動に努めてまいりました。しかしながら、主原料である鉄スクラップの世界的な需要増加に伴い、鉄スクラップ価格が高止まりしたことにより、厳しい経営環境となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は266億4千3百万円と前年同期比84億6千5百万円の増収、経常利益は7億8千6百万円と前年同期比8億3千8百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億9千9百万円と前年同期比4億6千3百万円の減益となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更等)及び(セグメント情報等) セグメント情報 3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、主需要先である産業機械・建設機械向け需要に回復傾向が見られ、主要製品である厚板の販売数量及び販売価格は前年同期を上回りました。一方、主原料である鉄スクラップは海外相場の上昇や需要回復の影響により価格が高止まりし、利益を圧迫しました。

その結果、売上高は253億5千7百万円と前年同期比86億1千9百万円の増収、セグメント利益(営業利益)は7億1千4百万円と前年同期比8億4千2百万円の減益となりました。

(レンタル事業)

レンタル事業につきましては、積極的な営業活動により 그리스フィルターのレンタル枚数や厨房工事の受注が増加し、広告看板部門においても受注が増加したことから、売上高は3億2千4百万円と前年同期比2千7百万円の増収、セグメント利益(営業利益)は2千2百万円と前年同期比1千2百万円の増益となりました。

(物流事業)

物流事業につきましては、需要先の生産活動の落ち込みにより危険物倉庫の取扱量が減少したことから、売上高は3億円と前年同期比3千2百万円の減収、セグメント利益(営業利益)は1億5百万円と前年同期比5百万円の減益となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、大型工事案件の工期遅延等により、売上高は6億6千1百万円と前年同期比1億4千9百万円の減収、セグメント損失(営業損失)は0百万円(前年同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は3千5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産状況

(資産の部)

流動資産は455億8百万円で、前連結会計年度末より23億4百万円の増加となりました。その主な要因は、有価証券が減少したものの、受取手形及び売掛金、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は256億1千9百万円で、前連結会計年度末より6億4千2百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産において減価償却が進んだことによるものです。

(負債の部)

流動負債は69億2千1百万円で、前連結会計年度末より12億8千万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金、未払金が増加したことによるものです。

固定負債は10億8千9百万円で、前連結会計年度末より3千2百万円の増加となりました。

(純資産の部)

純資産は631億1千7百万円で、前連結会計年度末より3億4千8百万円の増加となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと及び、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は142億4千4百万円となり、前連結会計年度末より24億7千9百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは10億3千1百万円の支出(前年同四半期連結累計期間は26億1千8百万円の収入)となりました。

主として、減価償却費の計上12億4千3百万円、税金等調整前四半期純利益7億8千6百万円などの収入があったものの、売上債権の増加36億4千8百万円などの支出があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは37億8千8百万円の収入(前年同四半期連結累計期間は12億9千6百万円の支出)となりました。

主として、有価証券の取得による支出73億円、定期預金の預入による支出25億円などの支出があったものの、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入90億円、定期預金の払戻による収入55億円などの収入があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億7千7百万円の支出(前年同四半期連結累計期間は5億5千3百万円の支出)となりました。

主として、配当金の支払額2億7千5百万円などの支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2021年5月6日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日2021年11月1日公表の「2022年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,764	8,944
受取手形及び売掛金	10,785	13,955
電子記録債権	1,609	2,088
有価証券	15,502	12,900
商品及び製品	2,908	3,776
仕掛品	1,387	1,130
原材料及び貯蔵品	3,181	2,579
その他	64	133
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,203	45,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,328	7,109
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	10,048	9,734
土地	1,801	1,801
建設仮勘定	126	90
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	19,305	18,736
無形固定資産	149	271
投資その他の資産		
投資有価証券	5,788	5,442
退職給付に係る資産	157	117
繰延税金資産	390	400
その他	474	655
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	6,807	6,612
固定資産合計	26,262	25,619
資産合計	69,466	71,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,273	4,824
電子記録債務	64	94
未払金	388	863
未払法人税等	231	322
未払消費税等	51	178
賞与引当金	391	387
役員賞与引当金	6	5
その他	234	243
流動負債合計	5,640	6,921
固定負債		
役員退職慰労引当金	14	9
退職給付に係る負債	967	1,004
その他	75	75
固定負債合計	1,057	1,089
負債合計	6,697	8,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,672	4,676
利益剰余金	52,134	52,357
自己株式	△1,363	△1,358
株主資本合計	61,350	61,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	942	1,014
為替換算調整勘定	△24	△14
退職給付に係る調整累計額	△37	△28
その他の包括利益累計額合計	881	971
非支配株主持分	537	564
純資産合計	62,768	63,117
負債純資産合計	69,466	71,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	18,178	26,643
売上原価	14,214	23,285
売上総利益	3,963	3,358
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,127	1,350
役員報酬及び給料手当	479	466
賞与引当金繰入額	153	133
退職給付費用	49	48
その他	473	478
販売費及び一般管理費合計	2,285	2,477
営業利益	1,678	881
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	25	32
受取賃貸料	37	37
為替差益	—	0
雑収入	12	18
営業外収益合計	82	93
営業外費用		
支払利息	3	3
固定資産処分損	100	170
為替差損	10	—
雑損失	22	15
営業外費用合計	136	188
経常利益	1,624	786
特別損失		
投資有価証券評価損	91	—
特別損失合計	91	—
税金等調整前四半期純利益	1,533	786
法人税等	541	259
四半期純利益	991	526
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	962	499

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	991	526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204	71
為替換算調整勘定	7	9
退職給付に係る調整額	10	8
その他の包括利益合計	222	89
四半期包括利益	1,213	616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,184	588
非支配株主に係る四半期包括利益	28	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,533	786
減価償却費	1,282	1,243
投資有価証券評価損益(△は益)	91	-
固定資産処分損益(△は益)	100	170
引当金の増減額(△は減少)	△2	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23	43
受取利息及び受取配当金	△32	△37
支払利息	3	3
売上債権の増減額(△は増加)	431	△3,648
棚卸資産の増減額(△は増加)	295	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	323	580
未払消費税等の増減額(△は減少)	△474	127
その他	12	△129
小計	3,588	△877
利息及び配当金の受取額	37	41
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△1,004	△192
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,618	△1,031
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,500	△2,500
定期預金の払戻による収入	6,500	5,500
有形固定資産の取得による支出	△645	△367
有形固定資産の売却による収入	0	0
有価証券の取得による支出	△8,900	△7,300
投資有価証券の取得による支出	△353	△374
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	10,700	9,000
その他	△97	△169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,296	3,788
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△552	△275
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553	△277
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	788	2,479
現金及び現金同等物の期首残高	13,790	11,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,579	14,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来顧客への製品の販売における当社連結子会社の役割が代理人に該当する取引について、顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当該対価の総額から第三者に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

さらに、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として有償支給先に残存する支給品について「仕掛品」を認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高相当額について「有償支給取引に係る負債」を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、売上原価が1,025百万円それぞれ減少しましたが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、仕掛品及び流動負債その他が29百万円それぞれ増加しましたが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,738	296	332	811	18,178
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	8	4	1,195	303	1,512
計	16,747	300	1,528	1,114	19,691
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,556	9	110	△35	1,641

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,641
セグメント間取引消去	37
四半期連結損益計算書の営業利益	1,678

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	25,357	324	300	661	26,643
その他の収益	—	—	—	—	—
(1)外部顧客に対する売上高	25,357	324	300	661	26,643
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5	2	121	266	395
計	25,363	326	421	927	27,039
セグメント利益又はセグメント損失(△)	714	22	105	△0	842

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	842
セグメント間取引消去	39
四半期連結損益計算書の営業利益	881

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は鉄鋼関連事業で1,025百万円減少しておりますが、セグメント利益に影響はありません。

[ご参考]

業績比較

2021年11月1日

1. 2022年3月期第2四半期 個別業績

(1) 損益比較

(単位:百万円)

	2020年度上期	2021年度上期	増減		
売上高	15,785	25,163	+	9,378	販売単価 +22.4 %
営業利益	1,502	609	△	893	販売数量 +30.4 %
営業外損益	△ 40	△ 84	△	44	売上高 +59.4 %
経常利益	1,462	524	△	937	
特別損益	△ 91	-	+	91	
四半期純利益	904	356	△	548	
(1株当たり四半期純利益)	(32円79銭)	(12円91銭)			

(2) 経常利益増減要因

(単位:百万円)

増加要因		減少要因	
① 販売単価の上昇	4,943	① 主原料払出単価の上昇	8,442
② 販売数量の増加	876	② 製造コストの上昇	449
③ 製造コストの低減	2,388	③ 販売運賃の増加	221
④ 一般管理費の減少	19	④ 営業外費用の増加	60
⑤ 営業外収益の増加	15	⑤ 売電損益の減益	6
計	8,241	計	9,178
増減合計		△ 937	

2. 2022年3月期第2四半期 連結業績

(1) 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2020年度上期	2021年度上期	増減	
売上高	18,178	26,643	+	8,465
売上原価	14,214	23,285	+	9,070
販売費及び一般管理費	2,285	2,477	+	192
営業利益	1,678	881	△	797
営業外収益	82	93	+	11
営業外費用	136	188	+	52
経常利益	1,624	786	△	838
特別損益	△ 91	-	+	91
税金等調整前四半期純利益	1,533	786	△	746
法人税等	541	259	△	282
非支配株主に帰属する 四半期純利益	28	27	△	1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	962	499	△	463

(2) 連結キャッシュ・フロー(CF)

(単位:百万円)

	2021年度上期	(前年同期比)	
I. 営業活動によるCF	△ 1,031	△	3,649
II. 投資活動によるCF	3,788	+	5,084
III. 財務活動によるCF	△ 277	+	276
IV. 換算差額	△ 0	△	20
V. 増減額	2,479	+	1,690
VI. 現金・同等物の期首残高	11,764	△	2,026
VII. 現金・同等物の期末残高	14,244	△	335

(3) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

連結			(前年度比)			個別			
資産の部	71,128	+	1,661	69,315	負債の部	8,010	+	1,313	10,502
流動資産	45,508	+	2,304	44,364	流動負債	6,921	+	1,280	9,591
当座資産	37,888	+	2,227	36,840	支手及び買掛金	4,918	+	580	4,046
棚卸資産	7,486	+	9	7,413	短期借入金	-	-	-	3,528
その他	132	+	68	110	その他	2,002	+	699	2,015
固定資産	25,619	△	642	24,950	固定負債	1,089	+	32	911
有形固定資産	18,736	△	568	16,516	純資産の部	63,117	+	348	58,813
無形固定資産	271	+	121	217	株主資本	61,581	+	231	57,815
その他	6,612	△	194	8,216	資本金	5,907	-	-	5,907
					資本剰余金	4,676	+	3	4,676
					利益剰余金等	50,998	+	228	47,232
					その他の包括利益累計額	971	+	89	-
					評価・換算差額等	-	-	-	997
					非支配株主持分	564	+	27	-
資産	71,128	+	1,661	69,315	負債・純資産	71,128	+	1,661	69,315

3. 2022年3月期 連結・個別業績予想

(単位:百万円)

	個別	(前年度比: %)		連結	(前年度比: %)	
売上高	63,000	+	78.3	66,100	-	-
経常利益	4,700	+	125.2	5,300	+	109.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,100	+	122.9	3,400	+	113.4